

令和5年度 病虫害発生予察情報(美濃地域) 9月予報

【 果樹 】

カメムシ類

岐阜市則松に設置した予察灯では、8月上旬からチャバネアオカメムシの誘殺数が平年を上回っています。すでに一部のほ場では飛来が確認されているため、十分な注意が必要です。今後は高温傾向が予想されており、現在被害が認められていないほ場でも飛来する可能性があるため、防除を徹底してください。

【 野菜 】

ハスモンヨトウ

中濃および東濃地域に設置したフェロモントラップへの誘殺数が平年を大きく上回っています。本年は平年と比較し高温傾向で本虫の増殖に好適な条件が続くと考えられるため、ほ場での発生に十分注意し、発生が認められた場合は若齢幼虫のうちに防除を実施してください。

○主な病虫害の発生時期及び防除時期（9月）

	病虫害名 (防除適期)	生育状況 発生量	発生時期及び防除適期						防除上の注意事項
			1旬	2旬	3旬	4旬	5旬	6旬	
水稲	生育(ハツシモ)	並	<穂ぞろい>						・8/14調査(6/9田植：農業技術センター)
	穂 いもち	並	<発生最盛期>						・ <u>穂いもち</u> 穂ばらみ期～穂揃期に防除を実施する。
	トビイロウンカ	少							
	ツマグロヨコバイ	やや多	<第4世代幼虫>						・ <u>ツマグロヨコバイ</u> 幼虫最盛期に防除を実施する。
	斑点米カメムシ類	やや多	本田への侵入(出穂以降)						・ <u>斑点米カメムシ類</u> 穂ぞろい期～乳熟期に防除を実施する。
	防除適期		▲ ～ ▲穂いもち・斑点米カメムシ類・ツマグロヨコバイ						
大豆	生育(フクユタカ)	並	<着莢>						
	カメムシ類	やや多	本ほへの侵入(着莢期以降)						・ <u>カメムシ類</u> 着莢期から子実肥大期に防除する。
	ハスモンヨトウ	やや多	<発生量増加>						・ <u>ハスモンヨトウ</u> 白変葉を認めたら直ちに防除する。
	防除適期								
かき	岐阜西濃 中濃	やや多							・幼虫発生初期の防除を徹底する。
	ハマキムシ類	やや多							・着色始期までに防除を実施する。
	防除適期								
なし	黒星病	やや多	<発生量増加>						・収穫後の秋期防除を徹底する。
	防除適期		▲黒星病～						
果樹	カメムシ類	やや多	<新世代成虫>						・飛来が認められた場合は直ちに防除を実施する。
	防除適期								
野菜	灰色かび病	並	<発生量増加>						・薬剤抵抗性の発達を防ぐため、同一系統薬剤の連用は避ける。
	ハスモンヨトウ	多	<発生量増加>						・ <u>灰色かび病</u> 花がらや葉先枯れは感染源となるため取り除く。
	タバコガ類	並	<発生量増加>						・ <u>タバコガ類</u> 苗からの持ち込みに注意する。
	アブラムシ類	並							・ <u>アブラムシ類</u> 苗からの持ち込みに注意する。
	コナジラミ類	やや多							・ <u>ハスモンヨトウ</u> ・ <u>タバコガ類</u> 若齢幼虫期の防除を徹底する。
	アザミウマ類	並							・ <u>コナジラミ</u> ・ <u>アザミウマ類</u> 施設栽培では虫媒性ウイルスへの感染防止のため、防虫ネット展張による侵入防止と定植時の粒剤施用を徹底する。
	防除適期								

注1) ▲、▲～▲：防除適期

注2) 美濃地域は岐阜、西濃、中濃及び東濃地域

注3) 用語の定義及び基準については「発生予察事業の調査実施基準」に準ずる

トビロウカ

9月以降に収穫を迎える品種では発生に注意してください。発生を確認した場合、使用時期（収穫前日数）等の農薬使用基準を遵守し、薬液が株元にかかるよう散布してください。

いもち病（穂いもち）

穂いもちが多発して上位葉に病斑が進展している場合や出穂期に降雨が続く場合は、穂いもちが多発しやすくなります。出穂期の防除は確実に実施してください。

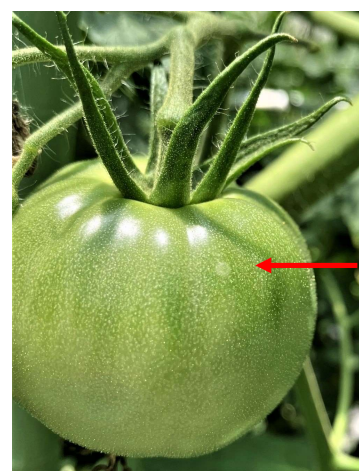
灰色かび病（夏秋トマト）

8月下旬の調査では、東濃地域で平均発病株率が65%と高くなっています（表1）。本病は20℃前後の比較的低温で90%以上の高湿度が連続すると蔓延が著しくなります。気象庁の1か月予報では、降水量は平年並か多い見込みと予想されており、降雨の状況によっては発生が増加することも考えられます。本病は花がらや葉先枯れ部などの枯死した部分に大量に胞子を形成するので、枯死部は早めに取り除くとともに、薬剤による防除を実施してください。

表1 令和5年度トマト灰色かび病発生状況調査結果

調査地点		8月下旬	
		発病株率(%)	発病果率(%)
中濃地域	白川町	22.0	3.2
	中津川市①	38.8	1.0
東濃地域	中津川市②	93.8	1.5
	恵那市	62.5	27.3
東濃地域平均		65.0	9.9

※ゴーストスポット果は発病果に含む



ゴーストスポット果

果樹カメムシ類

果樹カメムシ類は8月上旬以降増加し、岐阜市則松に設置した予察灯では、チャバネアオカメムシの誘殺数が平年を上回っています（図）。また、チャバネアオカメムシ新世代成虫が果樹園に飛来する目安となるヒノキ毬果の口針鞘数（カメムシの吸汁痕）が増加しています（表2）。口針鞘数が1果当たり25本に達すると、ヒノキ林からの離脱が始まるとされていますが、地点によっては9月上旬には離脱が始まると予測されます。カメムシの飛来を確認したら、直ちに防除を実施してください。

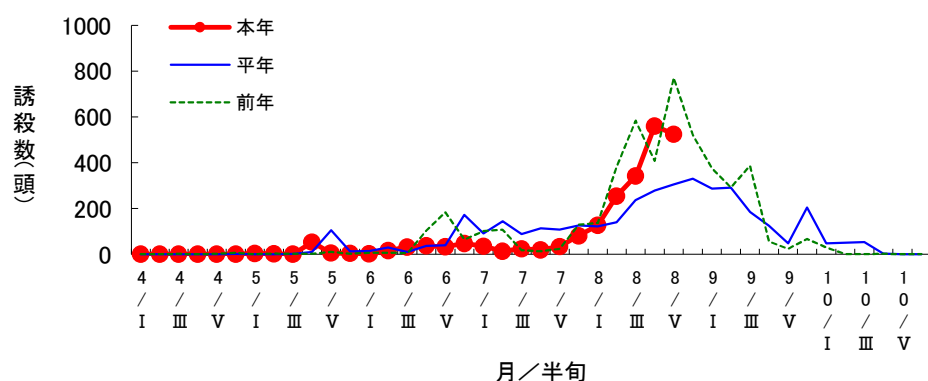


図 予察灯によるチャバネアオカメムシ誘殺数の推移(岐阜市則松)

表2 ヒノキ1果あたりの口針鞘数 (本/果)

	岐阜市	大野町
8月上旬	0.5	2.7
8月中旬	9.3	10.0
8月下旬	18.0	13.0

農薬の安全使用に努めましょう！！

農薬の適正な使用、保管管理に努め、農薬を散布する場合は、周辺に栽培されている作物のみでなく住宅地等を含めて飛散がないよう、十分に配慮してください。

東海地方1か月予報 (名古屋地方気象台 8月24日発表)

向こう1か月、天気は数日の周期で変わりますが、平年に比べ晴れの日が少ないでしょう。気温は高く、降水量は平年並か多いでしょう。

岐阜県病害虫防除所では、この他に病害虫の詳細な調査データをホームページにて公開しています。

<https://www.pref.gifu.lg.jp/soshiki/24321/>

〒501-1152 岐阜市又丸729-1 TEL (058)239-3161 FAX (058)234-0767



岐阜県病害虫防除所
トップページ
QRコード